

2019年度（2020年3月期） 通期 決算説明会

2020年 4月 30日
セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

年号：断りが無い限り、会計年度を示す

■2019年度実績

- 通期決算概要
- 新型コロナウイルスの影響
- 第4四半期決算概要

■2020年度の取り組み

- 第1四半期の状況
- 基本方針と取り組み

■株主還元

2019年度 通期決算 | ハイライト

	2018年度		2019年度				増減額/増減比		
	(億円)	実績	%	1/31予想	%	実績	%	対前期	対1/31予想
売上収益		10,896		10,600		10,436		-460 -4.2%	-163 -1.5%
事業利益		704	6.5%	420	4.0%	408	3.9%	-296 -42.0%	-11 -2.7%
営業利益		713	6.5%	370	3.5%	394	3.8%	-318 -44.7%	+24 +6.7%
税引前利益		720	6.6%	360	3.4%	397	3.8%	-323 -44.9%	+37 +10.3%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		537	4.9%	270	2.5%	77	0.7%	-459 -85.6%	-192 -71.4%
EPS* ¹ (円)		152.49		78.05		22.26			
為替レート (円、指数)	USD	¥110.86		¥108.00		¥108.74			
	EUR	¥128.40		¥120.00		¥120.85			
	その他通貨* ²	100		93		94			

*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて
加重平均した値について、前年同期を100とした指数

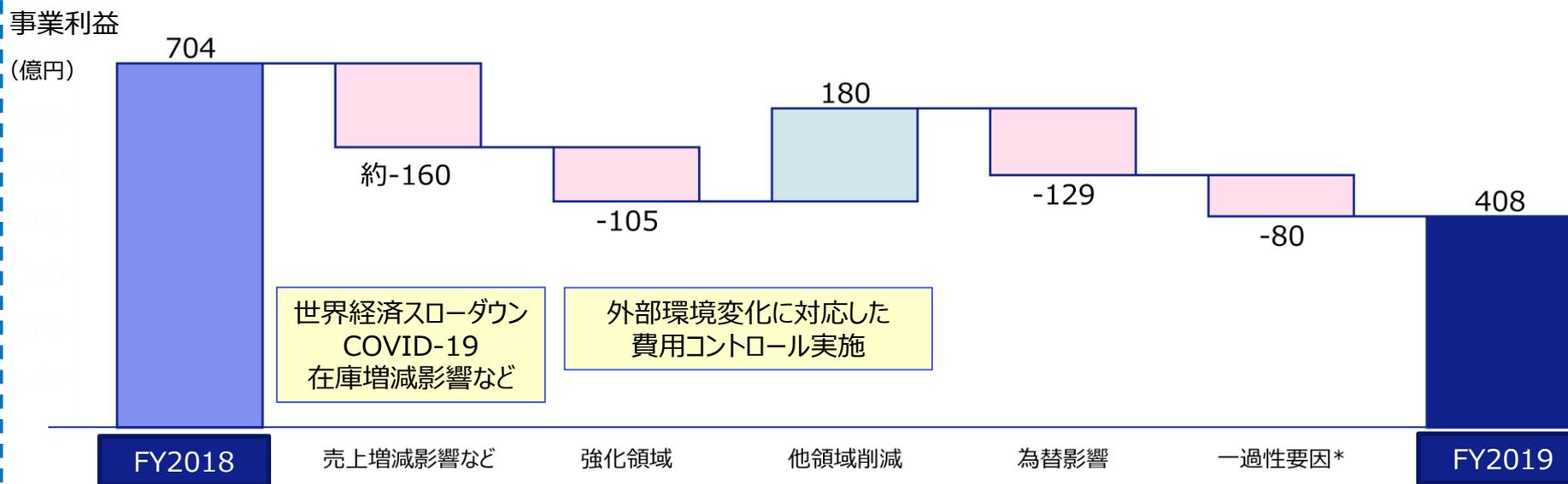
前期に対する 為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他 通貨合計	合計
売上収益	-61	-103	-159	-323
事業利益	+16	-63	-82	-129

■ 戦略商品の伸長が継続

- 大容量インクタンクモデル、オフィス共有IJP、商業・産業IJP

■ 世界経済のスローダウンなどの外部環境変化影響や一過性要因*のマイナス影響を大きく受ける

- 米中貿易摩擦に端を発した世界経済の停滞や一部地域での政治経済の混乱
- 足元での新型コロナウイルス(COVID-19)の影響
- ユーロや中南米、アジア諸国に対する円高進行



*2018年度に発生したプリントヘッド部品に係る在庫評価減の計上方法変更による事業利益へのプラス影響や特許料収入

■ 需要・販売への影響

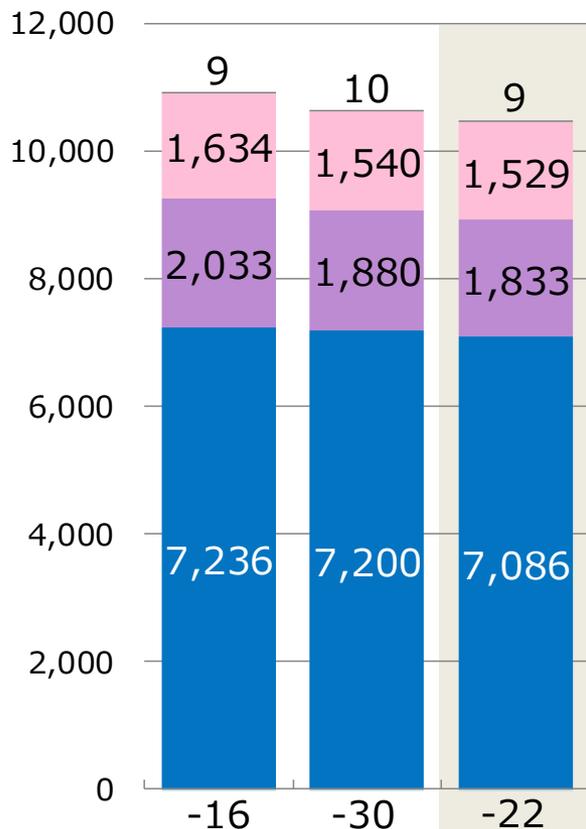
- COVID-19の影響により、多くの事業・商品で需要は大きく減退
 - ✓ SIDM、商業・産業IJP、小型プリンター、ウォッチ、ロボットなどでは2月以降に大幅減少
 - ✓ オフィス共有IJPは、3月に入り商談や納品が滞る
 - ✓ プロジェクターは、中国・北米中心に大幅に減少
- 一方で、IJPのホーム向け商品は在宅需要を取り込み堅調な販売状況
 - ✓ 中国や北米、欧州、オーストラリアなど

主な事業・商品	影響を受けた主な地域・内容
大容量インクタンクモデル	中国では在宅需要発生も、エマージング地域中心に販売はスローダウン
SOHO・ホームIJP	北米、欧州、オーストラリアなどでは在宅需要を取り込み、前回予想以上の販売
オフィス共有IJP	3月に入ると、日本、欧米で商談、納品が停滞
プロフェッショナルプリンティング	商業・産業IJPや小型プリンターで商談、納品が停滞
プロジェクター	中国・北米などを中心に市場縮小
ウォッチ	インバウンド需要減少や外出制限による市場の冷え込み
ロボット	需要が回復基調の中、受注済案件の納品停滞
MD他	納品の先送りなど
合計	約140億円程度の販売減（市場の冷え込みに加え、生産制約など）

2019年度 通期実績 | 事業セグメント別

通期売上収益

(億円) 10,896 10,600 **10,436**



FY2018 実績 FY2019 1/31予想 FY2019 実績

連結合計

対前期 -460
対1/31予想 -163

その他

ウェアラブル・産業プロダクト

対前期 -104
対1/31予想 -10

ビジュアルコミュニケーション

対前期 -199
対1/31予想 -46

プリンティングソリューションズ

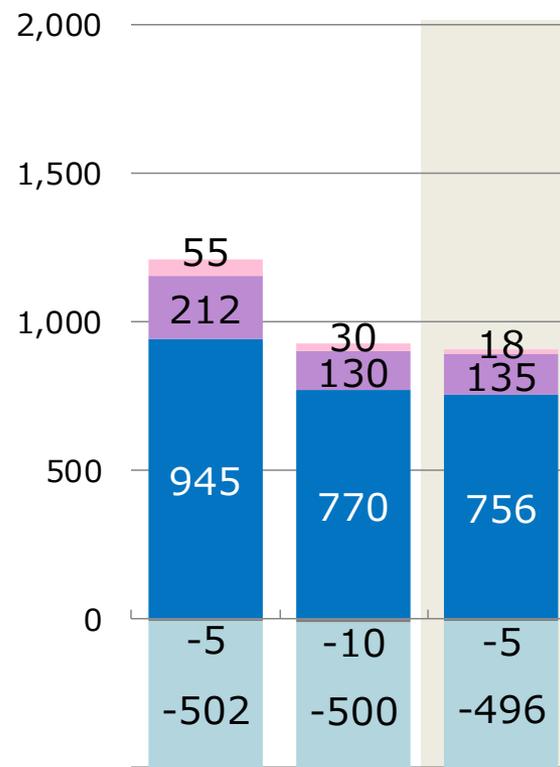
対前期 -150
対1/31予想 -113

全社費用・調整額

対前期 -5
対1/31予想 +7

通期事業利益

(億円) 704 420 **408**



FY2018 実績 FY2019 1/31予想 FY2019 実績

連結合計

対前期 -296
対1/31予想 -11

ウェアラブル・産業プロダクト

対前期 -36
対1/31予想 -11

ビジュアルコミュニケーション

対前期 -76
対1/31予想 +5

プリンティングソリューションズ

対前期 -188
対1/31予想 -13

その他

全社費用・調整額

対前期 +6
対1/31予想 +3

2019年度 通期実績 | プリンティングソリューションズ

(億円)

プリンティングソリューションズ	2018年度 実績	2019年度 1/31予想	2019年度 実績	対前期	為替 影響額	対 1/31予想
売上収益	7,236	7,200	7,086	-150	-228	-113
プリンター	5,059	4,840	4,825	-234		-14
構成比 IJP*1	84%	84%	84%			
SIDM	8%	7%	7%			
その他	8%	9%	9%			
プロフェッショナルプリンティング	1,980	2,100	1,979	-0		-120
その他	197	260	282	+84		+22
事業間売上収益	-1	0	-1	-0		-1
セグメント利益	945	770	756	-188	-86	-13
セグメント利益率	13.1%	10.7%	10.7%			

プリンター

- ◆ 大容量インクタンクモデルは通期販売台数 1,000万台 先進国でも販売拡大
- ◆ オフィス共有IJPは、着実に販売拡大
- ◆ SOHO・ホーム向けIJPは、ビジネスモデル転換に伴い販売減少
- ◆ SIDMは中国などで販売減少

プロフェッショナルプリンティング

- ◆ 商業・産業IJPは軟調な市場環境の中、堅調な販売

その他

- ◆ PC販売が好調に推移

◆ 販売動向 (社内管理値に基づく指標)	FY18 実績	FY19 1/31予想	FY19 実績
IJP本体 販売台数伸長率	-4%	+2%	+1%
IJP本体 販売台数 (約、万台)	1,540	1,580	1,570
内 大容量インクタンク	900	1,020	1,000
内 SOHO・ホーム向け	610	520	530
IJPインク売上収益 (円貨) 伸長率	-1桁%台後半	-10%	-8%/ (現地通貨) -5%
IJP内 オフィス共有IJP*2売上収益比率	1桁%台後半	9%	8%
プロフェッショナルプリンティング内 商業・産業IJP売上収益比率	60%台前半	64%	64%

*1 IJPには、大容量インクタンク、SOHO・ホーム、オフィス共有を含む

*2 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル、RIPS、LIJの本体・インクを含む。役務・有償サービスは除く

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2018年度 実績	2019年度 1/31予想	2019年度 実績	対前期	為替 影響額	対 1/31予想
売上収益	2,033	1,880	1,833	-199	-71	-46
セグメント利益	212	130	135	-76	-34	+5
セグメント利益率	10.4%	6.9%	7.4%			

プロジェクター

- ◆ STDモデルや超短焦点モデルを中心に市場縮小により販売縮小

◆ プロジェクターの販売動向 (社内管理値に基づく指標)	FY18 実績	FY19 1/31予想	FY19 実績
本体 販売数量伸長率	+1%	-6%	-9%
本体 販売数量 (約、万台)	260	250	240

(億円)

ウェアラブル・産業プロダクツ	2018年度 実績	2019年度 1/31予想	2019年度 実績	対前期	為替 影響額	対 1/31予想
売上収益	1,634	1,540	1,529	-104	-25	-10
ウェアラブル機器	498	460	440	-58		-19
ロボティクスソリューションズ	226	200	212	-14		+12
マイクロデバイス他	966	930	929	-37		-0
事業間売上収益	-58	-50	-53	+5		-3
セグメント利益	55	30	18	-36	-8	-11
セグメント利益率	3.4%	1.9%	1.2%			

ウェアラブル機器

- ◆ 厳しい市場環境が継続

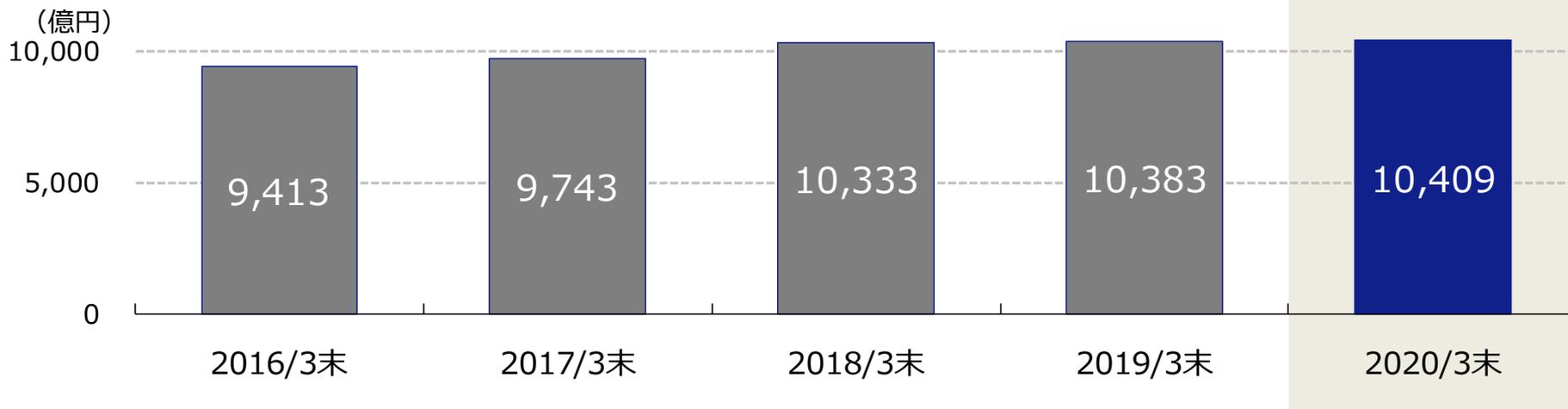
ロボティクスソリューションズ

- ◆ 投資意欲減退の中、お客様や用途が拡大

マイクロデバイス他

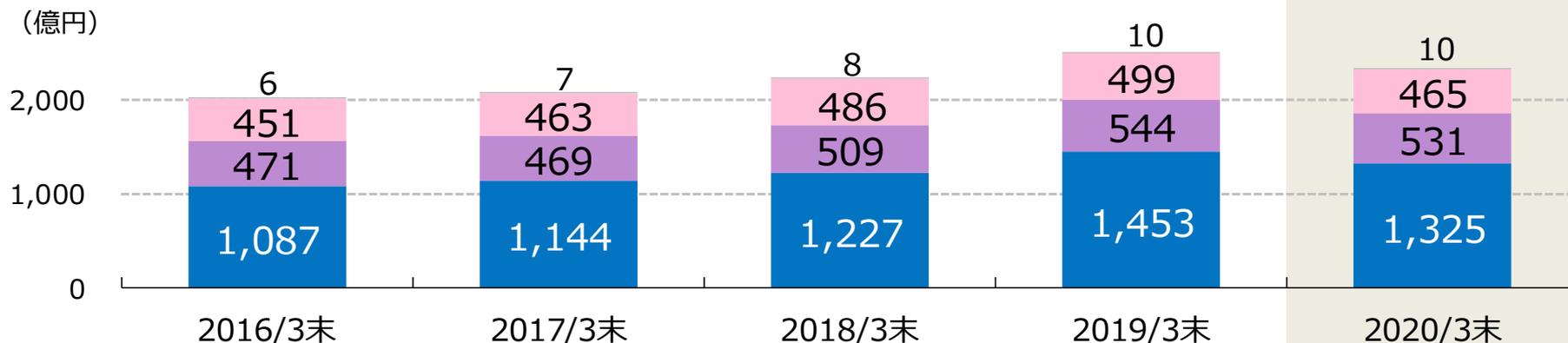
- ◆ 下期にかけて回復基調で推移

資産合計

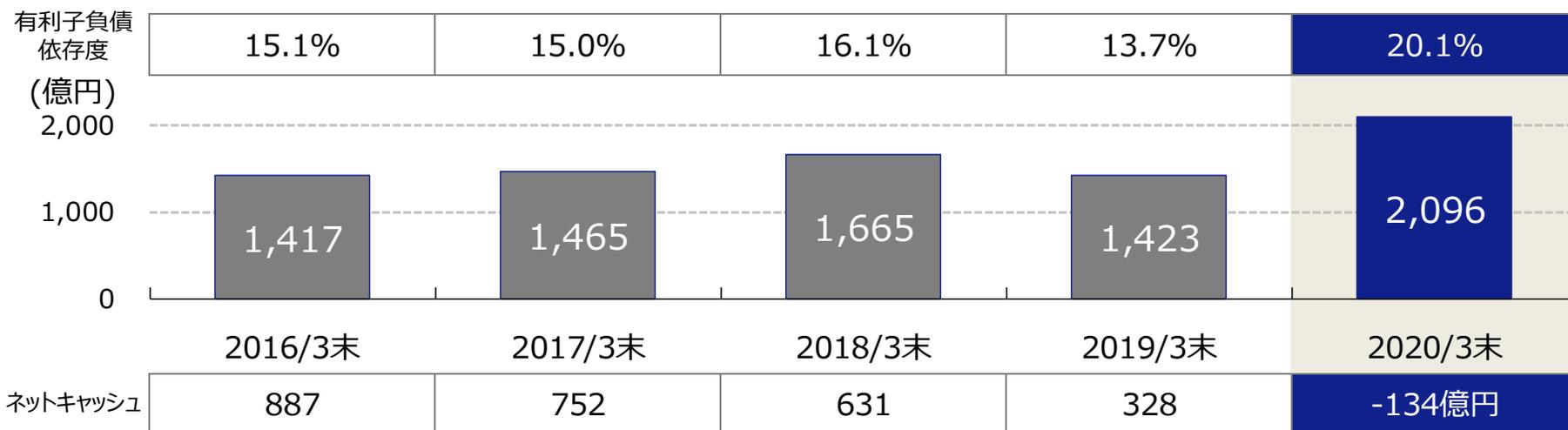


棚卸資産・回転日数

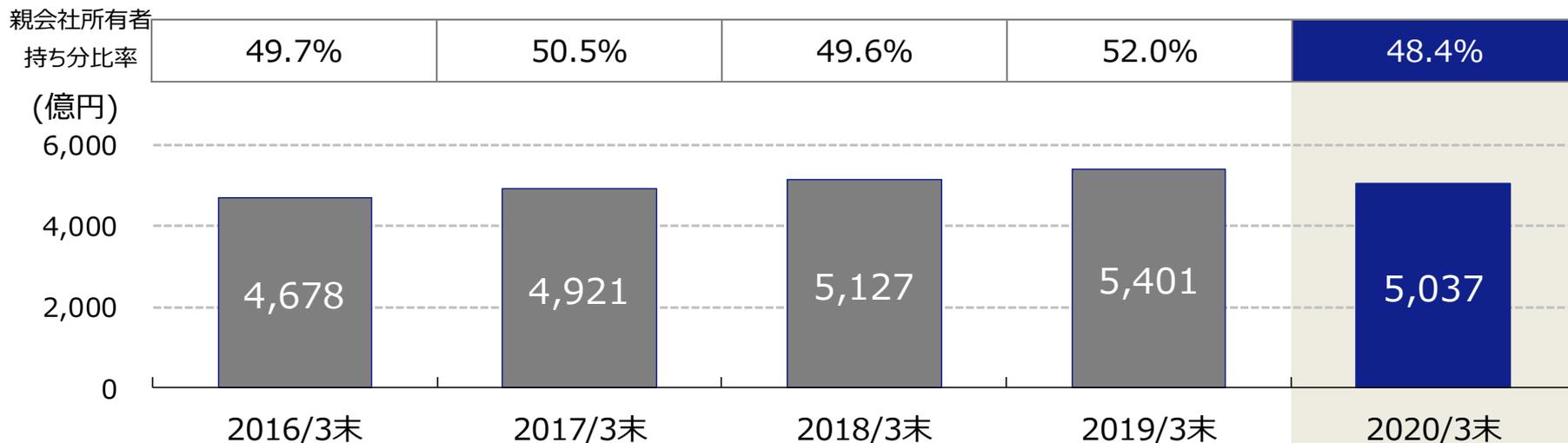
棚卸資産	2,016	2,085	2,232	2,507	2,334億円
回転日数	67	74	74	84	82日



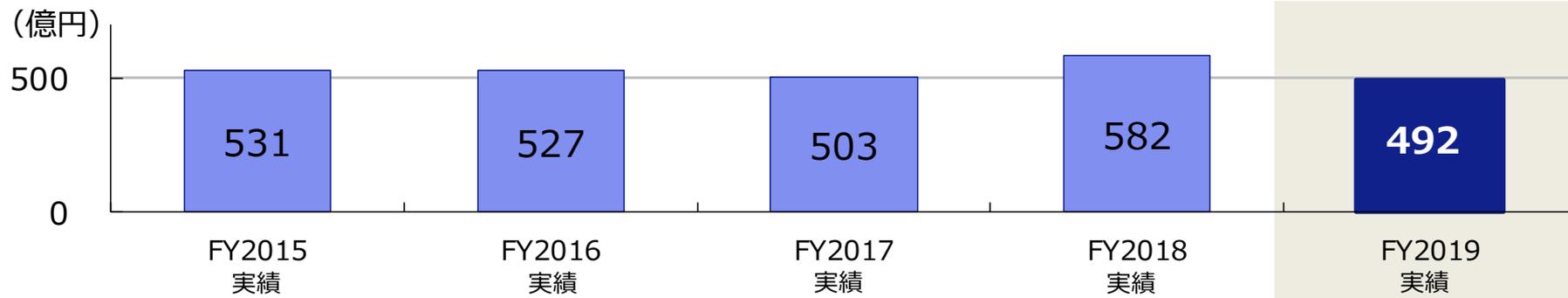
有利子負債・有利子負債依存度、ネットキャッシュ



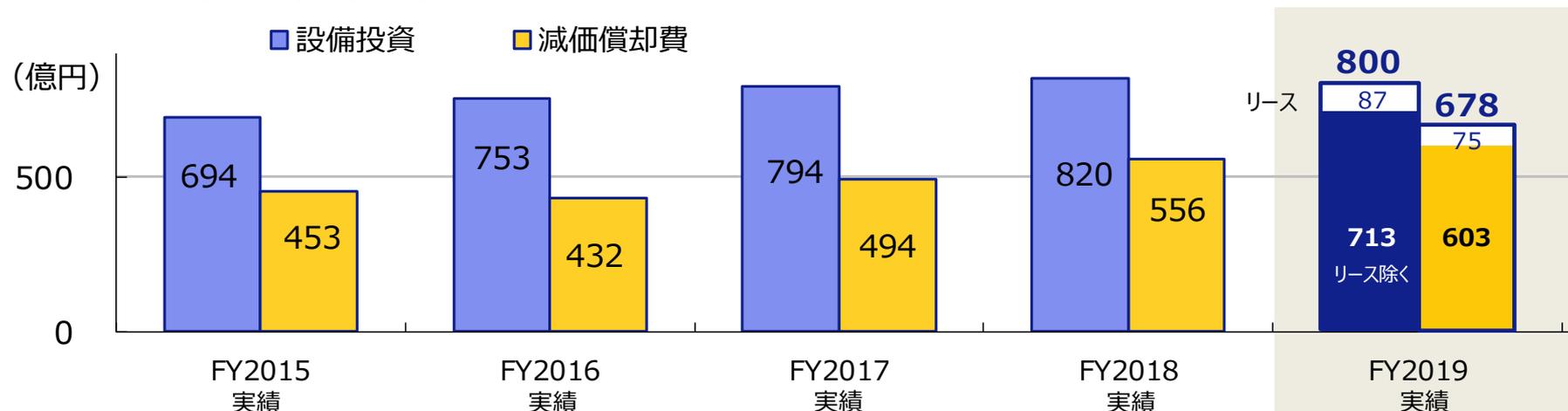
親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者帰属持分比率



研究開発費



設備投資・減価償却費



リース

800

87

678

75

713

リース除く

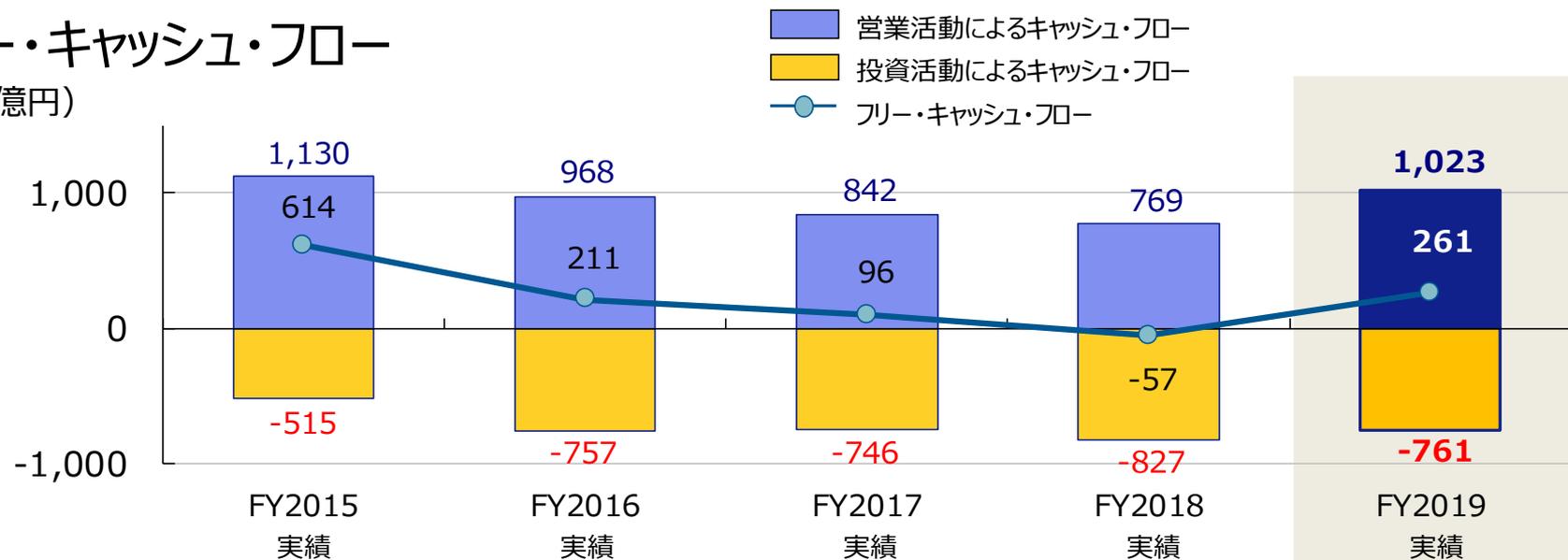
603

	設備投資	減価償却費
プリンティングソリューションズ	435	388
ビジュアルコミュニケーション	141	117
ウェアラブル・産業プロダクト	147	103
その他・全社費用	75	67

FY2019実績にはリースを含む

フリー・キャッシュ・フロー

(億円)



主な経営指標

(%)

	FY2015 実績	FY2016 実績	FY2017 実績	FY2018 実績	FY2019 実績
ROS 売上収益 事業利益率	7.8	6.4	6.8	6.5	3.9
ROA 資産合計 事業利益率	8.7	6.9	7.4	6.8	3.9
ROE 親会社所有者帰属持分 当期利益率	9.5	10.1	8.3	10.2	1.5

2019年度 第4四半期決算 | ハイライト

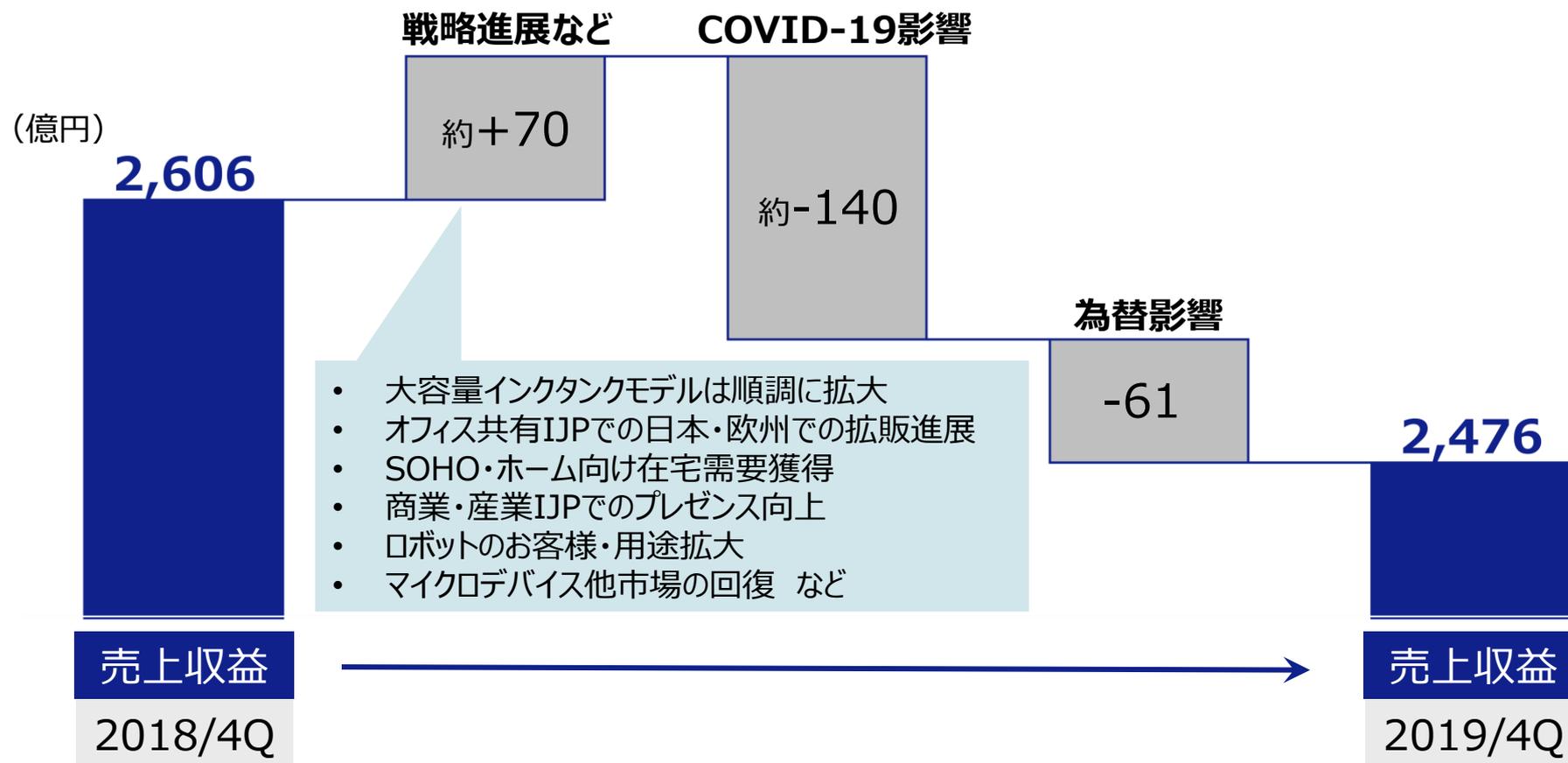
	2018年度		2019年度		対前年同期		
	(億円)	4Q実績	%	4Q実績	%	増減額	増減率
売上収益		2,606		2,476		-129	-5.0%
事業利益		121	4.6%	40	1.6%	-81	-66.9%
営業利益		131	5.1%	24	1.0%	-107	-81.2%
税引前利益		131	5.1%	32	1.3%	-99	-75.3%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		77	3.0%	-167	-6.8%	-245	-
EPS ^{*1} (円)		22.13		-48.55			
為替レート (円、指数)	USD	¥110.14		¥109.00			
	EUR	¥125.13		¥120.18			
	その他通貨 ^{*2}	100		94			

*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前年同期を100とした指数

前年同期に対する 為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他 通貨合計	合計
売上収益	-8	-16	-36	-61
事業利益	+0	-10	-21	-31

■ 売上収益・事業利益は、COVID-19影響、為替影響、一過性要因*を除き、前年同期から回復



*前年同期に発生したプリントヘッド部品に係る在庫評価減の計上方法変更による事業利益へのプラス影響

■2019年度実績

- 通期決算概要
- 新型コロナウイルスの影響
- 第4四半期決算概要

■2020年度の取り組み

- 第1四半期の状況
- 基本方針と取り組み

■株主還元

■ 販売の状況

- COVID-19を背景とした各国での厳しい制限のある中、販売は落ち込んだ状況が継続しているが、地域・商品により濃淡あり
- 大容量インクタンクモデル、SOHO・ホーム向けIJPは在宅需要が旺盛であり生産回復を急ぐ
 - ✓ 中国、欧米などの在宅学習・在宅勤務の環境が整備されている地域
- ロボットは、COVID-19影響は限定的

需要の変化	北米・西欧 ・豪州など	日本	中国	その他 エマージング 地域
大容量インクタンクモデルや インカートリッジモデル	在宅需要の 増加	大きな 影響なし	在宅需要の 増加 (大容量インク タンクモデル)	需要減少
オフィス共有IJP 商業・産業IJP プロジェクター	需要は減少			
ロボット	影響は限定的			

■ 生産の状況

- 中国の製造拠点は、2月上旬に一時的に停止したが、順次回復し、大きな混乱は収束
- アジア圏の生産拠点では3月以降制約を受ける中で操業中
 - ✓ フィリピンでの主な生產品目：大容量インクタンクモデル、SOHO・ホーム向けIJP本体、プロジェクター、小型プリンター など
 - ✓ インドネシアでの主な生產品目：SOHO・ホーム向けIJP、オフィス共有IJP本体、SIDM、大判プリンター、スキャナー など
 - ✓ マレーシアでの主な生產品目：水晶デバイス、ウオッチ部品 など
- インクの生産は最優先で対応
 - ✓ お客様の社会生活、業務・稼働を支える商品を優先

■ 2020年度業績予想は未定とする

- 需要の予想が困難であり、また、販売活動や生産活動に制約がある現時点では、合理的予想が困難
- 年間計画の見直しを進めており、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表

- 第2期中期経営計画の基本方針は維持
 - 資産の最大活用と、協業・オープンイノベーションによる成長加速
 - 本社からのコントロールによる、グローバルオペレーションの強化
 - 経済環境、戦略の実効性を踏まえた規律ある経営資源の投入
- 従来の戦略商品の販売拡大継続と同時に、新たな成長分野での取り組みを成果につなげる

- 緊急アクションとしてCOVID-19対応に取り組む
 - 感染防止、健康・安全の確保
 - 生産の他拠点への移管、組立外部委託先の増強
 - 需要の変化に対応した販売・プロモーション方法の最適化
 - 費用執行の抑制・削減
 - 緊急時の財務的な備え
- 生活様式の変化や企業活動の変化を予測し、新たな価値創出に向けた検討を進める

■ プリンティングソリューションズ

- 大容量インクタンクモデルは、先進国での認知度をさらに向上させる
- オフィス共有IJPは、IJPの価値訴求を強化するとともに、商品ラインアップの継続的な強化を実施
- FY19スタートのサブスクリプションサービスなどを強化し、お客様接点を強化する
- 商業・産業IJPは、高生産性領域に向けた新商品による成長加速
- プリントヘッド外販ビジネスの拡大



大容量インクタンクモデル



高速ラインインクジェット
複合機



サブスクリプションサービス
ReadyPrint



プリントヘッド
外販ビジネス

■ ビジュアルコミュニケーション

- プロジェクターは、独自の価値が生かせる分野に経営資源を集中させ、事業環境の変化にも耐える強固な事業へ変革する

■ ウェアラブル・産業プロダクツ

- ウェアラブル機器は、モノづくり基盤・販売基盤の再整備とエプソンブランドビジネスの早期拡大
- ロボティクスソリューションは、社内活用拡大による高難度作業事例の蓄積とお客様の自動化要求への対応を進めるとともに、オープン化や協業によるさらなる成長に向けた準備を進める
- マイクロデバイス他は、IoT、通信、自動車用途向け販売拡大を継続する



高光束プロジェクター



ロボット社内活用事例（プリントヘッド組立）

■ 持続的成長に向けた基盤強化

- 中・長期視点で選定した全社重要テーマの推進
 - ✓ 経営基盤改革、長期ビジネス戦略、技術プラットフォーム戦略、顧客接点強化、生産基盤、人財戦略、組織風土・文化
- 開示と対話の充実による社会課題解決に向けた取り組みの一層の充実
 - ✓ 資本市場との対話を通じて得られた課題認識に基づき企業価値向上に取り組む
 - ✓ TCFDのフレームワークに基づき、気候関連財務情報を積極的に開示するとともに、対策を着実に進める



社外取締役と機関投資家との対話



■2019年度実績

- 通期決算概要
- 新型コロナウイルスの影響
- 第4四半期決算概要

■2020年度の取り組み

- 第1四半期の状況
- 基本方針と取り組み

■株主還元

■ 配当の基本方針

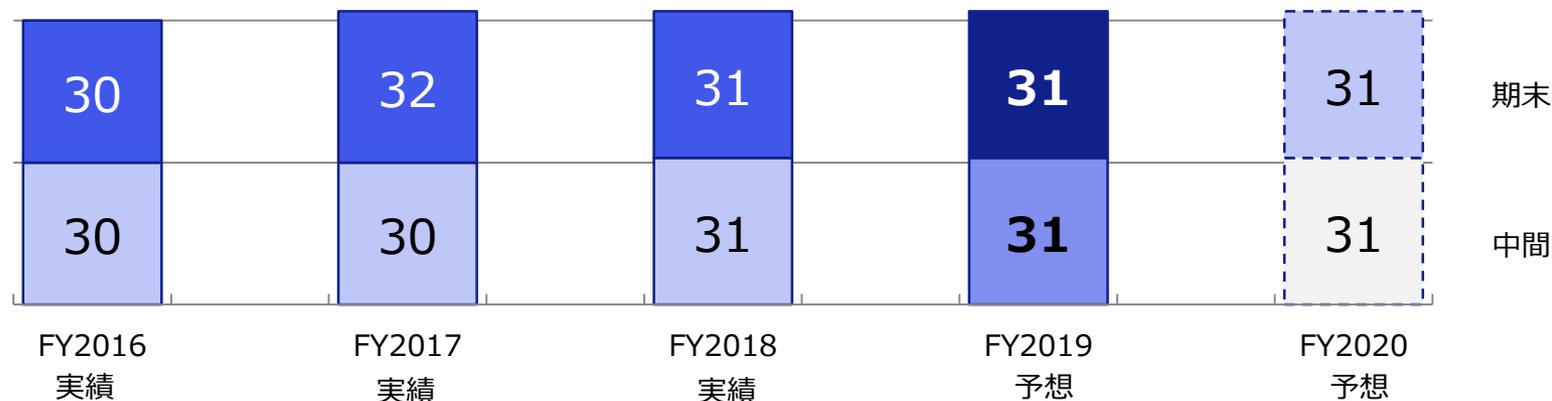
- 強固な財務構造の構築と、積極的な利益還元と並行して取り組む
- 中期的には連結配当性向40%程度を目標

■ 2020年度配当予想

- 2019年度と同額の1株当たり62円

■ 配当実績・予想

1株当たり配当金額の推移（円）



補足資料 - 第4四半期決算

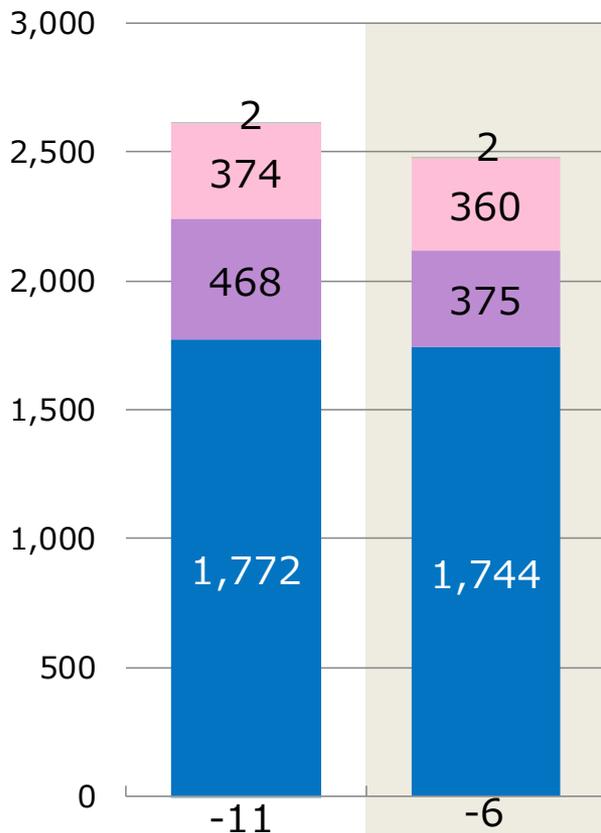
2019年度 第4四半期実績 | 事業セグメント別

四半期売上収益

(億円)

2,606

2,476



FY2018
4Q実績

FY2019
4Q実績

連結合計

対前年同期 -129

その他

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前年同期 -13

ビジュアル
コミュニケーション

対前年同期 -93

プリンティング
ソリューションズ

対前年同期 -27

全社費用・調整額

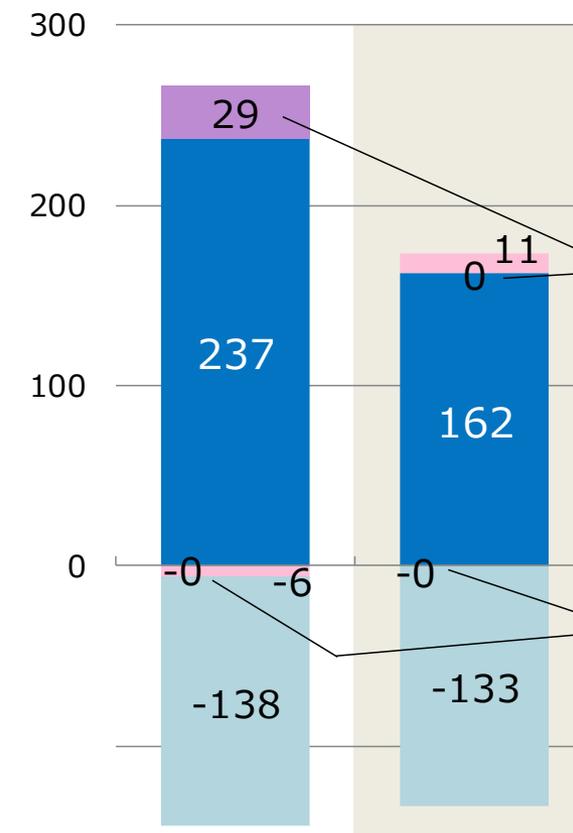
対前年同期 +4

四半期事業利益

(億円)

121

40



FY2018
4Q実績

FY2019
4Q実績

連結合計

対前年同期 -81

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前年同期 +18

ビジュアル
コミュニケーション

対前年同期 -28

プリンティング
ソリューションズ

対前年同期 -75

その他

全社費用・調整額

対前年同期 +5

(億円)

プリンティングソリューションズ	2018年度 4Q実績	2019年度 4Q実績	対 前年同期	為替 影響額
売上収益	1,772	1,744	-27	-46
プリンター	1,220	1,204	-16	
構成比 IJP*1	83%	85%		
SIDM	7%	5%		
その他	10%	10%		
プロフェッショナルプリンティング	485	470	-15	
その他	66	70	+4	
事業間売上収益	-0	-0	-0	
セグメント利益	237	162	-75	-24
セグメント利益率	13.4%	9.3%		

プリンター

◆ IJP

- ・大容量インクタンクモデルは、軟調な市況の中、販売数量増加
- ・SOHO・ホーム向け本体・インクが堅調な販売
- ・オフィス共有IJPも堅調な販売

◆ SIDM

- ・中国中心に減少

プロフェッショナルプリンティング

◆ 商業・産業IJP

- ・サイネージ・テキスタイルなど堅調

◆ 小型プリンター

- ・中国や米州で減少

◆ 主要製品の販売動向 (社内管理値に基づく指標)

		2019/4Q実績	
		円貨	現地通貨
IJP本体 売上収益	YoY伸張率	+4%	+9%
IJP本体 販売数量	YoY伸長率		+3%
IJPインク 売上収益	YoY伸長率	円貨 -2%	現地通貨 -0%
IJP内 オフィス共有IJP*2 売上収益	構成比		9%
プロフェッショナルプリンティング内 商業・産業IJP 売上収益	構成比		66%

*1 IJPには、大容量インクタンク、SOHO・ホーム、オフィス共有を含む

*2 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンターI/モデル、RIPS、LIJの本体・インクを含む。役務・有償サービスは除く

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2018年度 4Q実績	2019年度 4Q実績	対 前年同期	為替 影響額
売上収益	468	375	-93	-11
セグメント利益	29	0	-28	-6
セグメント利益率	6.4%	0.2%		

プロジェクター

- ・市況悪化が継続し、販売減少

◆ プロジェクターの販売動向 (社内管理値に基づく指標)

2019/4Q実績

	YoY伸長率	円貨	現地通貨
本体 売上収益		-20%	-17%
本体 販売数量			-16%

(億円)

ウェアラブル・産業プロダクツ	2018年度 4Q実績	2019年度 4Q実績	対 前年同期	為替 影響額
売上収益	374	360	-13	-3
ウェアラブル機器	112	90	-22	
ロボティクスソリューションズ	51	58	+7	
マイクロデバイス他	225	221	-4	
事業間売上収益	-15	-10	+5	
セグメント利益	-6	11	+18	-0
セグメント利益率	-1.8%	3.1%		

ウェアラブル機器

中・低価格帯ウォッチ、
ムーブメント減少

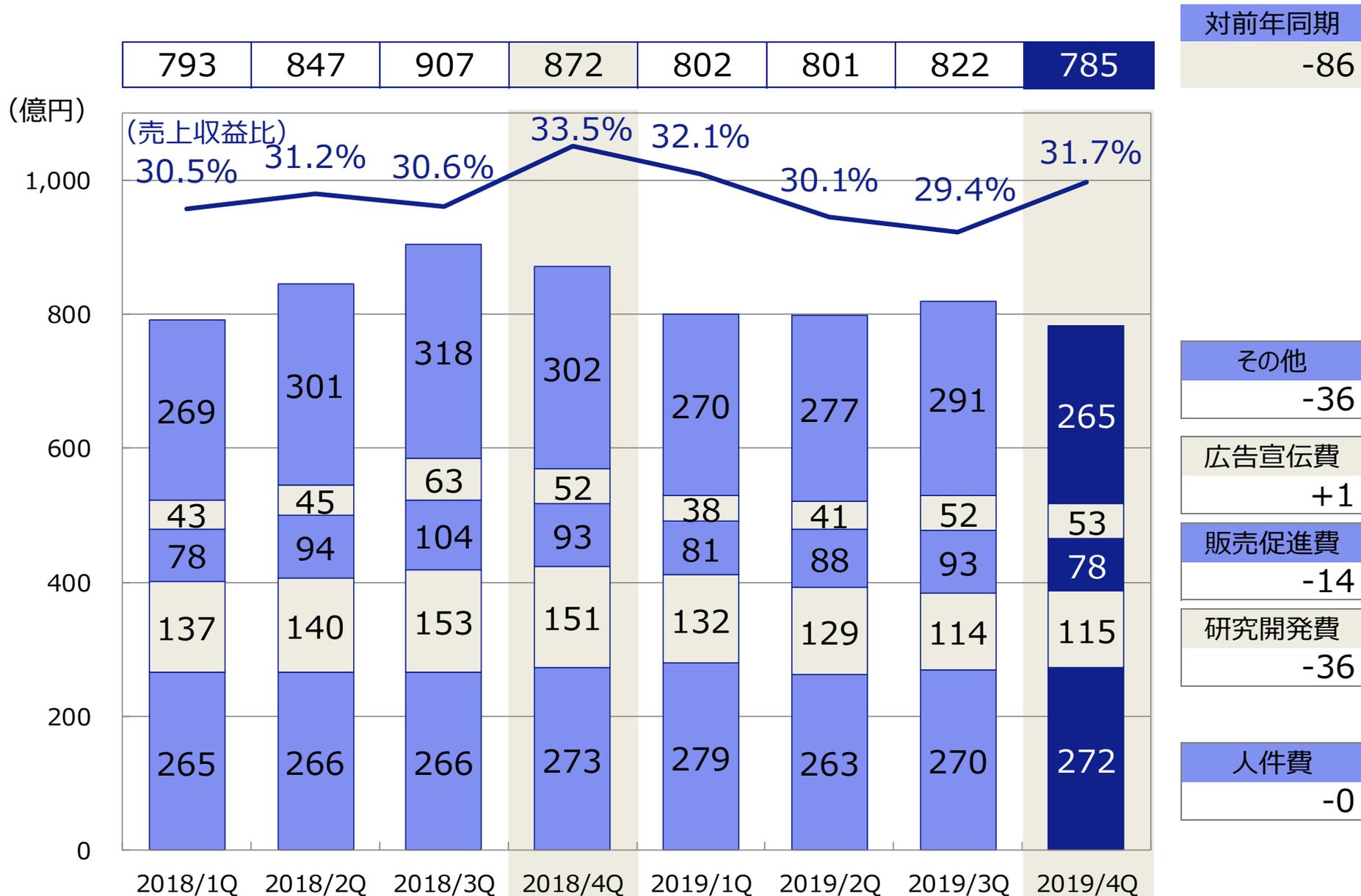
ロボティクスソリューションズ

- ・中国向け販売増加

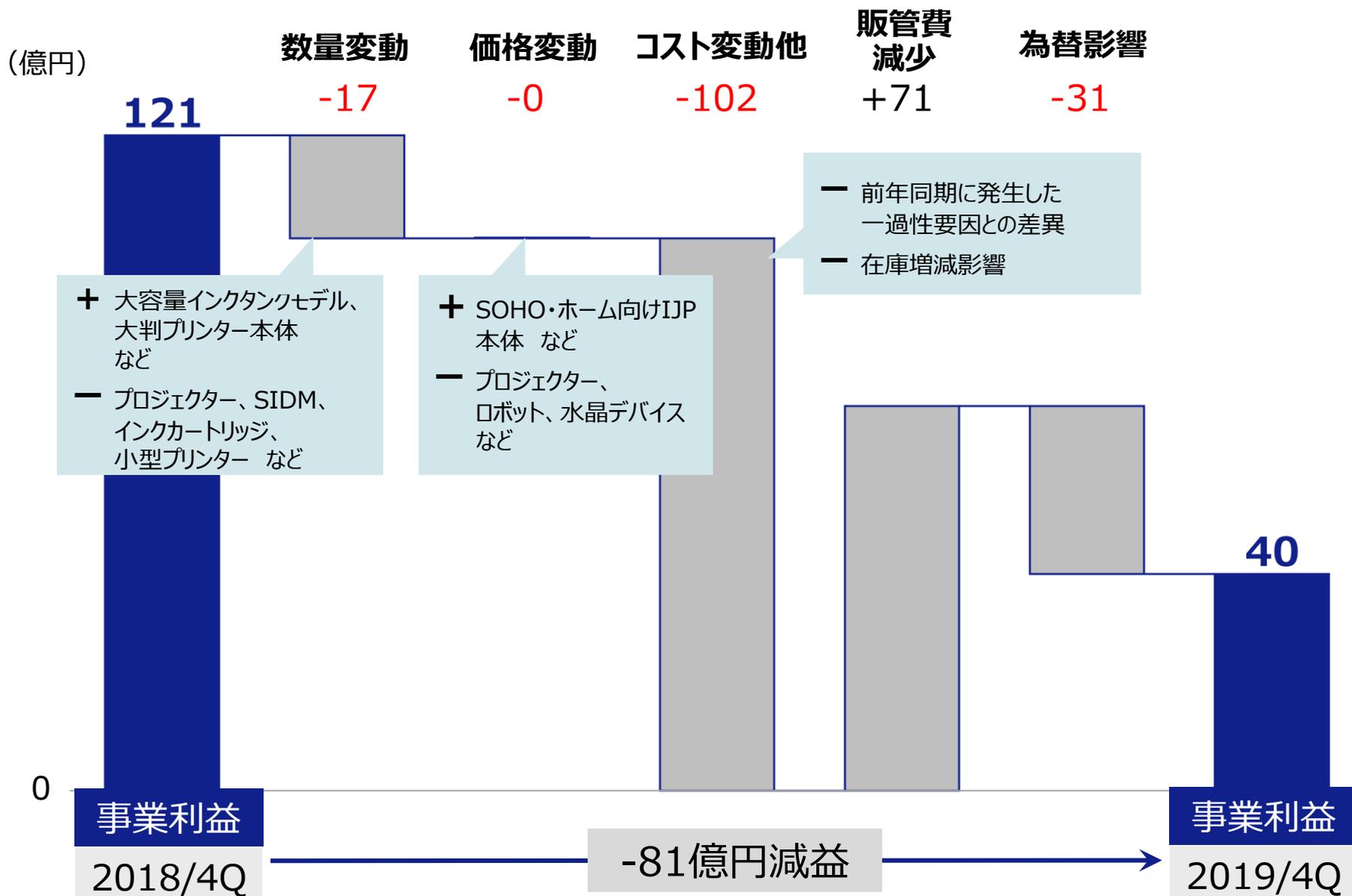
マイクロデバイス他

- ・水晶デバイスは民生機器、通信機器など堅調
- ・半導体はファンドリなどで需要堅調

販売費および一般管理費 主要科目別推移



2019年度 第4四半期実績 | 事業利益増減要因分析



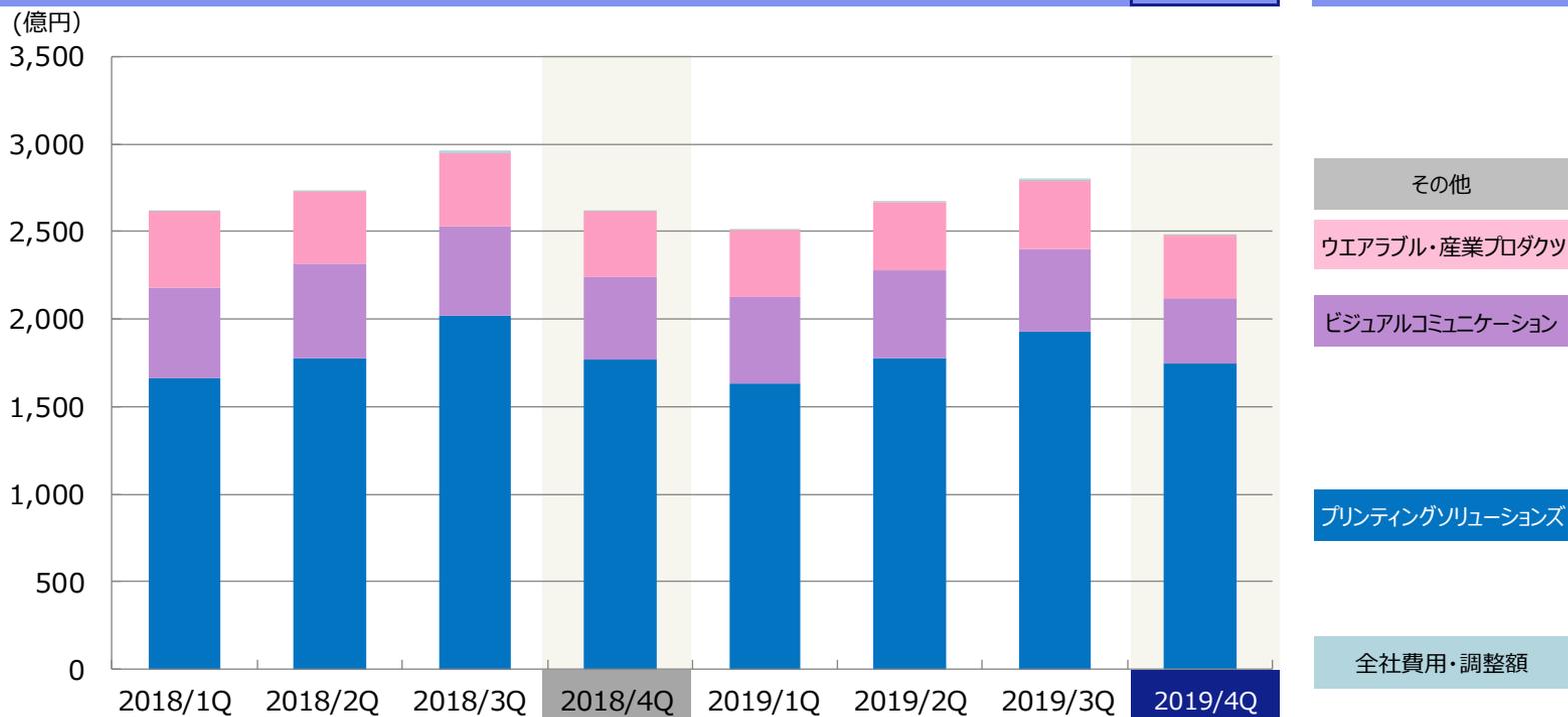
EPSON
EXCEED YOUR VISION

補足資料 - その他

四半期 売上収益推移 | 事業セグメント別

為替レート (円)	USD	109.06	111.46	112.80	110.14	109.93	107.31	108.72	109.00	-1.14
	EUR	130.09	129.66	128.73	125.13	123.54	119.34	120.35	120.18	-4.95

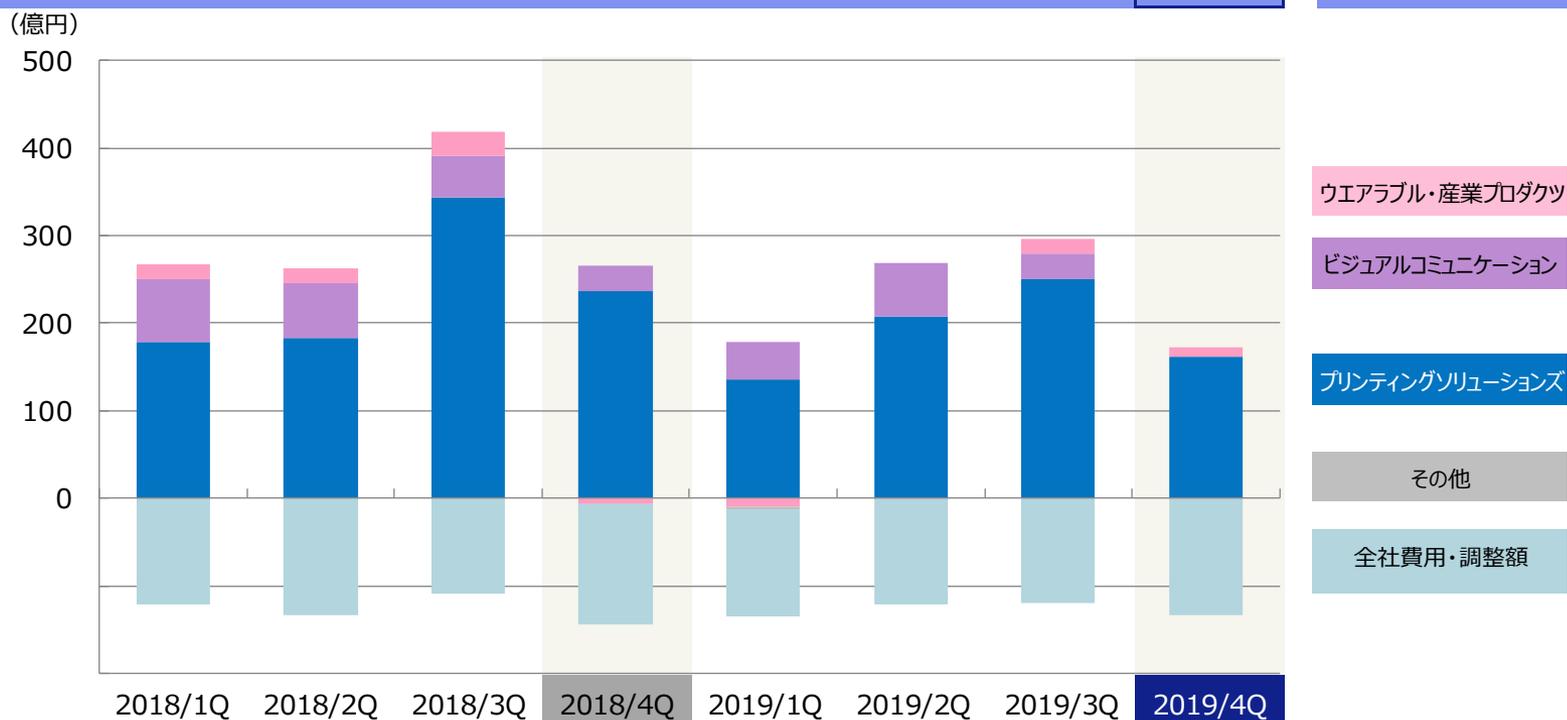
売上収益 (億円)	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	2018/4Q	2019/1Q	2019/2Q	2019/3Q	2019/4Q	対前年同期
プリンティングソリューションズ	1,666	1,780	2,017	1,772	1,632	1,780	1,929	1,744	-27
ビジュアルコミュニケーション	514	539	510	468	492	496	468	375	-93
ウェアラブル・産業プロダクツ	431	409	419	374	381	393	394	360	-13
その他	2	2	2	2	2	2	2	2	-0
全社費用・調整額	-9	-13	17	-11	-11	-7	3	-6	+4
連結合計	2,604	2,719	2,966	2,606	2,496	2,664	2,798	2,476	-129



四半期 事業利益推移 | 事業セグメント別

為替レート (円)	USD	109.06	111.46	112.80	110.14	109.93	107.31	108.72	109.00	-1.14
	EUR	130.09	129.66	128.73	125.13	123.54	119.34	120.35	120.18	-4.95

事業利益 (億円)	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	2018/4Q	2019/1Q	2019/2Q	2019/3Q	2019/4Q	対前年同期
プリンティングソリューションズ	179	183	344	237	136	207	250	162	-75
ビジュアルコミュニケーション	71	63	47	29	43	61	29	0	-28
ウェアラブル・産業プロダクツ	17	16	27	-6	-10	-0	17	11	+18
その他	-1	-0	-1	-0	-2	-1	-1	-0	+0
全社費用・調整額	-120	-134	-108	-138	-123	-120	-118	-133	+5
連結合計	146	127	309	121	45	146	176	40	-81



海外売上収益・従業員数

海外売上収益

為替レート (円)	USD	109.06	111.46	112.80	110.14	109.93	107.31	108.72	109.00	-1.14
	EUR	130.09	129.66	128.73	125.13	123.54	119.34	120.35	120.18	-4.95

売上収益 (億円)	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	2018/4Q	2019/1Q	2019/2Q	2019/3Q	2019/4Q	対前年同期
米州	755	821	770	757	745	717	712	753	-4
欧州	528	520	636	566	479	537	593	529	-36
アジア・オセアニア	792	794	761	675	725	758	744	585	-89
海外売上収益計	2,076	2,137	2,168	1,999	1,951	2,014	2,051	1,869	-130
連結合計	2,604	2,719	2,966	2,606	2,496	2,664	2,798	2,476	-129

構成比	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	2018/4Q	2019/1Q	2019/2Q	2019/3Q	2019/4Q
米州	29.0%	30.2%	26.0%	29.1%	29.9%	26.9%	25.5%	30.4%
欧州	20.3%	19.1%	21.5%	21.7%	19.2%	20.2%	21.2%	21.4%
アジア・オセアニア	30.4%	29.2%	25.7%	25.9%	29.1%	28.5%	26.6%	23.7%
海外売上収益計	79.7%	78.6%	73.1%	76.7%	78.2%	75.6%	73.3%	75.5%

従業員数

期末従業員数 (人)	2016/3末	2017/3末	2018/3末	2019/3末	2020/3末	対前期末
国内	18,699	19,175	19,436	19,456	19,558	+102
海外	48,906	53,245	56,955	57,191	56,050	-1,141
連結合計	67,605	72,420	76,391	76,647	75,608	-1,039

主な業績指標

(億円)

	項目	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2021 第2期 中計目標
為替レート (円)	USD	110.86	108.74	110.00
	EUR	128.40	120.85	125.00
プリンティング	売上収益	7,236	7,086	7,800
ソリューションズ	セグメント利益	945	756	-
ビジュアル コミュニケーション	売上収益	2,033	1,833	2,250
	セグメント利益	212	135	-
ウェアラブル・ 産業プロダクト	売上収益	1,634	1,529	1,950
	セグメント利益	55	18	-
その他	売上収益	9	9	-
	セグメント利益	-5	-5	-
全社・調整額	売上収益	-16	-22	-
	セグメント利益	-502	-496	-
連結合計	売上収益	10,896	10,436	12,000
	事業利益	704	408	960
	ROS	6.5%	3.9%	8%
	ROE	10.2%	1.5%	継続的に 10%以上

(億円)

項目	FY2018 実績	FY2019 実績	Epson 25 第2期3年累計 目標
USD	110.86	108.74	110.00
EUR	128.40	120.85	125.00
営業CF	769	1,023	3,700程度
FCF	-57	261	1,700程度
研究開発費	582	492	積極的に投下
設備投資	820	713 800*	2,000程度

*オペレーティングリース含む

主要製品の販売動向

本資料は、エプソン内部の管理値に基づく指標です。伸長率はYoY

* オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンター

I/Cモデル,RIPS,LIJの本体・インクを含む。

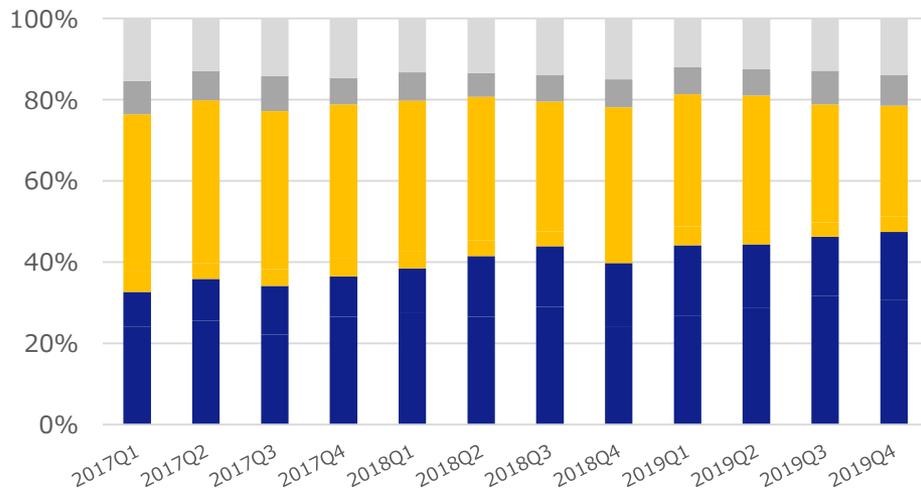
役務・有償サービスは除く

			FY2018 通期 実績	FY2019 1Q 実績	FY2019 2Q 実績	FY2019 3Q 実績	FY2019 4Q 実績	FY2019 通期 実績	
USD			110.86	109.93	107.31	108.72	109.00	108.74	
EUR			128.40	123.54	119.34	120.35	120.18	120.85	
プリンティング ソリューションズ	IJP 本体	売上収益（円貨）	伸長率	前期並み	-6%	+0%	-1%	+4%	-0%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-	-2%	+5%	+3%	+9%	+4%
		本体数量	伸長率	-4%	-7%	+6%	+2%	+3%	+1%
		本体数量	台数	約1,540万台	-	-	-	-	約1,570万台
		内 大容量インクタンク	台数	約900万台	-	-	-	-	約1,000万台
		内 SOHO・ホーム	台数	約610万台	-	-	-	-	約530万台
	IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比	約50%	-	-	-	-	48%
		売上収益（円貨）	伸長率	-1桁%台後半	-9%	-6%	-12%	-2%	-8%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-	-8%	-2%	-9%	-0%	-5%
	オフィス共有 IJP* 本体+インク	IJP内売上収益比率	構成比	1桁%台後半	8%	8%	8%	9%	8%
	SIDM 本体	売上収益（円貨）	伸長率	-1桁%台後半	-15%	-14%	-16%	-33%	-19%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-	-12%	-10%	-12%	-32%	-16%
本体数量		伸長率	-6%	-14%	-10%	-10%	-35%	-16%	
商業・産業 IJP 本体+インク	プロフェッショナル プリンティング 事業内売上収益比率	構成比	60%台前半	63%	63%	66%	66%	64%	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益（円貨）	伸長率	+1桁%台前半	-4%	-8%	-7%	-20%	-9%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-	-1%	-3%	-3%	-17%	-6%
		本体数量	伸長率	+1%	-8%	-9%	-4%	-16%	-9%
		本体数量	台数	約260万台	-	-	-	-	約240万台

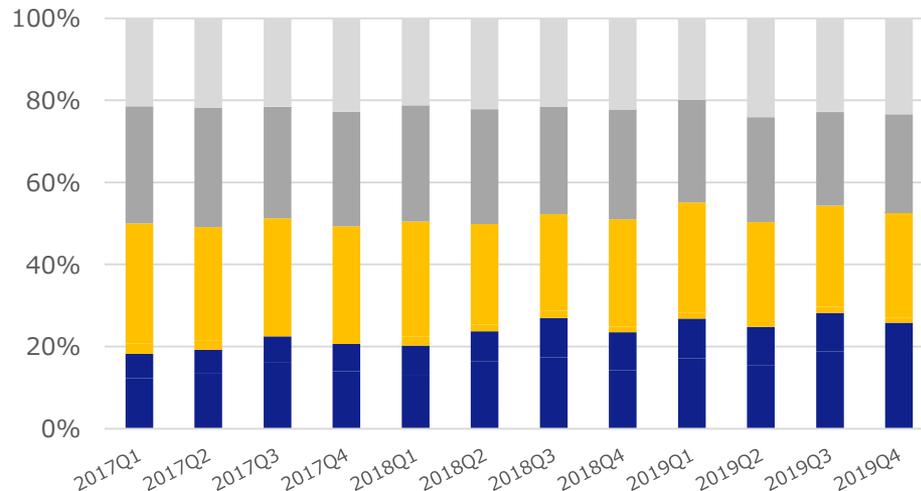
大容量インクタンクモデルの浸透（数量構成比）

A4サイズプリンタータイプ別市場推移（暦年）

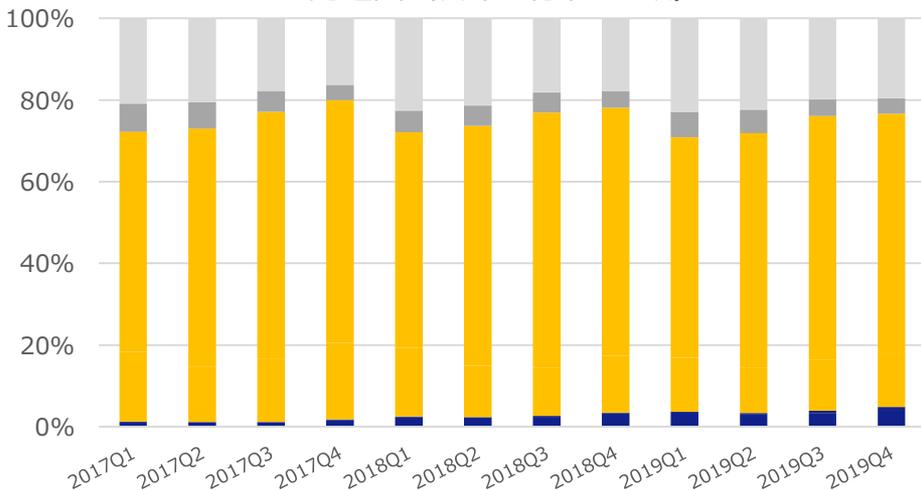
中南米



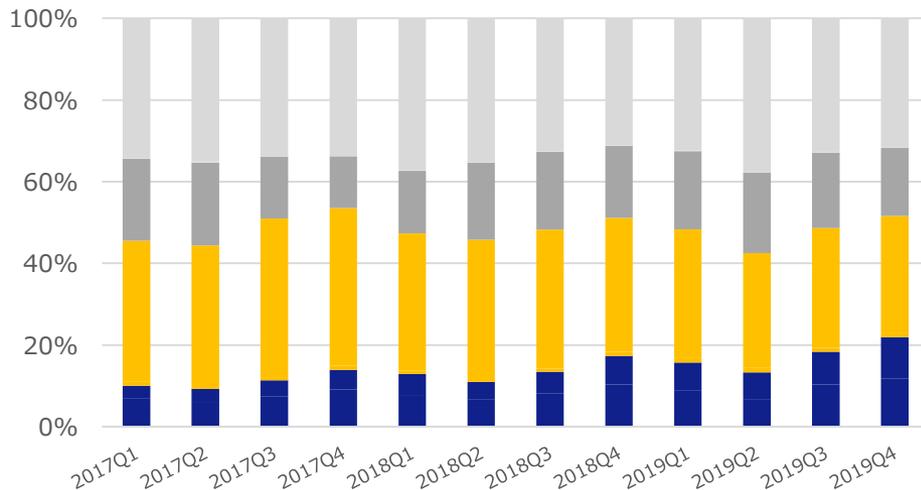
アジア・パシフィック



先進国（日本、北米、西欧）



東欧・中東・アフリカ



■ インクタンクプリンター ■ インクカートリッジプリンター
■ レーザープリンター(1-20ppm) ■ レーザープリンター(21ppm以上)

Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2019Q4
プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
Epson Connect	エプソンの商品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター（複合機含む）
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printers
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	商品カテゴリの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
フォト	フォト、グラフィックス、プルーフ、CAD印刷向け大判プリンターなどが含まれる
商業・産業IJP	商品カテゴリの1つ。商業・産業用途向け大判インクジェットプリンター
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクカートリッジモデル、大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル（RIPS）、高速ラインインクジェット（LIJ）の総称
分散印刷	同一内容の印刷物を複数のプリンターを用いて印刷する方法
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
OLED	Organic Light Emitting Diode（有機EL）
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

イノベーション

インクジェットイノベーション

ビジュアル
イノベーション

ウェアラブル
イノベーション

ロボティクス
イノベーション

セグメント

プリンティングソリューションズ

ビジュアル
コミュニケーション

ウェアラブル・産業プロダクト

事業
・
主要製品

プリンター

大容量インクタンクモデル



オフィス共有



SOHO・ホーム



SIDM



PaperLab



スキャナー



レーザープリンター

プロフェッショナルプリンティング

商業・産業IJP

POS



フォト



サイネージ



テキスタイル



ラベル



ヘッド外版

PC他



エプソンダイレクトPC

プロジェクター



高光束



超短焦点



スタンダード・ホーム



小型

ライティング



スマートグラス

ウェアラブル機器

エプソンブランド



TRUME



オリエント

ムーブメント



セイコービジネス



ロボティクス
ソリューションズ

ロボット



スカラ



6軸



自律型双腕ロボット

ICハンダー



オプション



マイクロ
デバイス他

マイクロデバイス



水晶



半導体



微合金粉末



表面処理加工

EPSON
EXCEED YOUR VISION